

令和7年3月議会

生 活 環 境 委 員 会  
報 告 資 料

○第3次「福岡市水道中期経営計画」及び  
「福岡市工業用水道中期経営計画」の最終案について

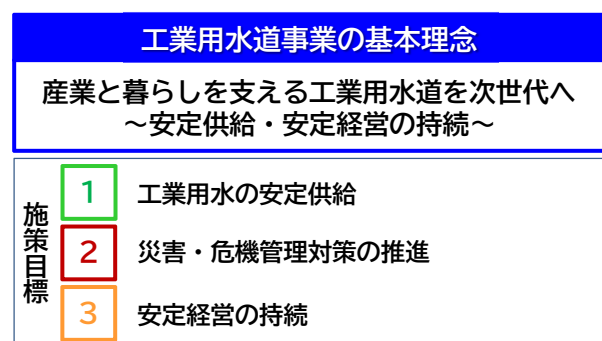
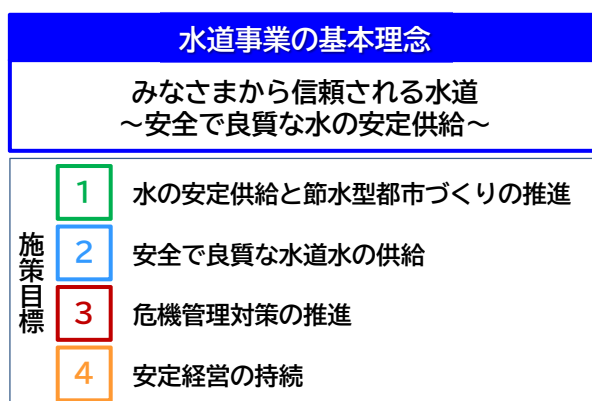
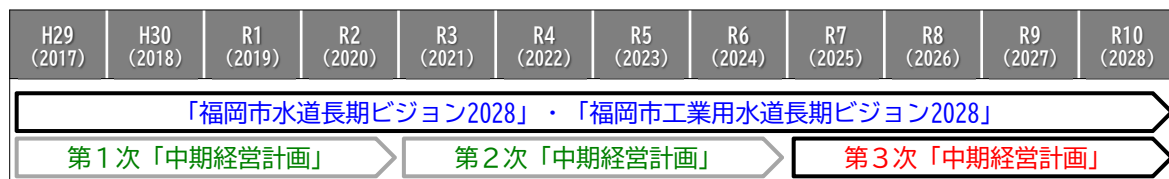
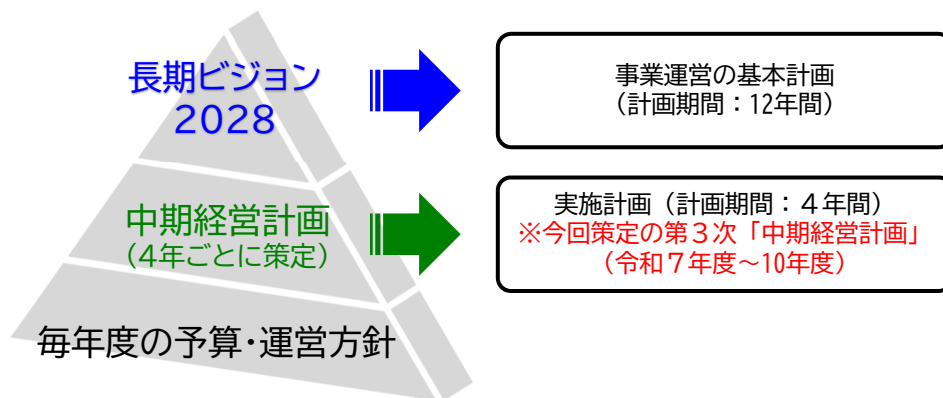
水 道 局

# 第3次「福岡市水道中期経営計画」及び「福岡市工業用水道中期経営計画」の最終案について

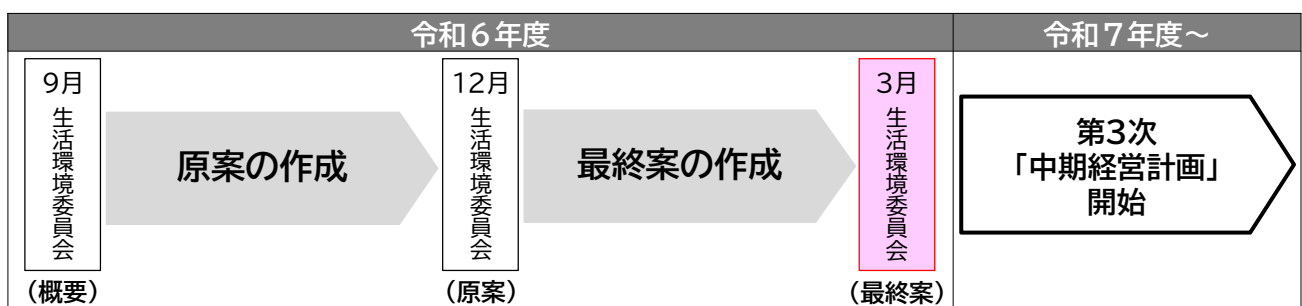
## 1 策定状況

「福岡市水道長期ビジョン2028」（水道事業運営の基本計画）及び「福岡市工業用水道長期ビジョン2028」（工業用水道事業運営の基本計画）の実施計画である第3次「福岡市水道中期経営計画」及び「福岡市工業用水道中期経営計画」の策定を進めている。

それぞれの第3次「中期経営計画」は、令和7年度から令和10年度までの4年間の具体的な事業計画や財政収支計画を定めるものであり、令和6年12月の原案報告を踏まえ、今回、最終案の報告を行うもの。



## 2 スケジュール



### 3 計画概要

#### (1) 水道事業

##### ① 取組みの方向性

第3次「福岡市水道中期経営計画」では、長期ビジョンで定めた施策目標の達成に向け、以下のとおり取組みの方向性を定めて、必要な事業を着実に推進していく。

- |                |                      |
|----------------|----------------------|
| ◆ 施設の計画的な維持・更新 | ◆ 脱炭素社会の実現に向けた取組みの推進 |
| ◆ 災害対策の推進      | ◆ 経営基盤の強化            |
| ◆ DXの推進        | ◆ 戦略的な広報の展開          |

##### ② 事業計画（主な事業）

###### 施策目標1 水の安定供給と節水型都市づくりの推進

- |                                                                      |                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| ◆ 浄水場の再編<br>高宮浄水場の浄水機能を乙金浄水場に統合するとともに、高宮浄水場を新たに緊急時給水拠点機能を持つ配水場として再整備 | ◆ 漏水防止調査 <b>拡充</b><br>従来の調査手法に加え、人工衛星画像やIoTセンサー等の新技術を活用した、効果的・効率的な漏水調査を実施 |
| ◆ 配水管の整備<br>土壌や地下水の状況等の埋設環境に応じた実質的な耐用年数内に計画的に更新                      | ◆ 「水をたいせつに」広報の推進<br>「水を大切に使う」心がけが市民（社会）全体に継承されるよう、効果的・継続的な広報を実施           |

###### 施策目標2 安全で良質な水道水の供給

- |                                                                                                  |                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| ◆ 水源かん養林の整備 <b>拡充</b><br>スギやヒノキの針葉樹人工林を主伐し、広葉樹の植樹を実施するとともに、 <u>100年後の水源かん養林のあり方を見据え、整備手法等を検討</u> | ◆ 小規模貯水槽の適正管理の啓発<br>様々な場面での情報提供に加え、貯水槽管理に関するパンフレットを設置者へ定期的に送付するなど、啓発活動を実施し、適正管理を促進 |
| ◆ 水質検査の充実 <b>拡充</b><br>水質基準の改正や、PFA等新たなリスクに迅速に対応するとともに、精度の高い水質検査の実施、検査技術のさらなる向上等により、検査体制の充実を図る   | ◆ 直結式給水の普及促進<br>直結式給水に関する積極的な情報提供に努めるとともに、「直結給水相談窓口」において、必要な工事や手続き等の各種相談に対応        |

###### 施策目標3 危機管理対策の推進

- |                                                                                     |                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| ◆ 第2次耐震ネットワーク工事の推進 <b>新規</b><br>新たに一時避難所を対象施設とし、 <u>対象となる90施設への給水ルートの耐震化を計画的に推進</u> | ◆ 様々な自然災害への備え <b>拡充</b><br><u>バックアップ機能の充実を図るとともに、各種危機管理マニュアルの見直しを実施</u> |
| ◆ 重要施設の耐水化<br>浄水場等の重要な水道施設5施設について、浸水・土砂災害対策を実施                                      | ◆ 災害応急体制の充実<br>広域的な連携体制を強化するとともに、給水基地の増設等に取り組み、応急給水体制を強化                |

###### 施策目標4 安定経営の持続

- |                                                                                                                |                                                                                             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| ◆ 積極的な情報提供 <b>拡充</b><br><u>水道の必要性と重要性、水道料金の使い道等の情報を提供し、水の大切さや水道事業への理解を深めていただくとともに、こども職業体験等を実施し、水道の仕事の魅力を発信</u> | ◆ 水道DXの推進 <b>拡充</b><br><u>ICT等を積極的に活用することにより、業務の効率性・生産性の向上や、迅速で利便性の高いサービスの実現を目指す</u>        |
| ◆ ICTを活用したサービスの向上<br>水道局アプリによるサービスの利用促進、AIチャットボットの活用により利便性を向上                                                  | ◆ 技術の継承等による人材育成 <b>拡充</b><br>OJTをはじめとして、水道技術研修所における研修等を、効果的・体系的に実施するとともに、 <u>DX人材の育成を推進</u> |
| ◆ 組織体制の最適化 <b>拡充</b><br>業務の効率化等を推進するため、「最適な組織体制の構築」に継続して取り組むとともに、 <u>働き方DXを推進し、生産性を向上</u>                      | ◆ 再生可能エネルギーの活用<br>新技術等の活用を含め、新たな施設における再エネ発電設備導入の可能性について調査・検討                                |

### ③ 財政収支計画

#### 1 単年度利益の確保

人口増等により料金収入が増加する一方、物価高騰等の影響により物件費が増加する見込みであるが、年平均40億円の単年度利益を確保できる見込みである。

#### 2 建設投資の平準化

可能な限り施設・設備の長寿命化に取り組むとともに、建設投資の平準化を図る。

#### 3 累積資金の確保

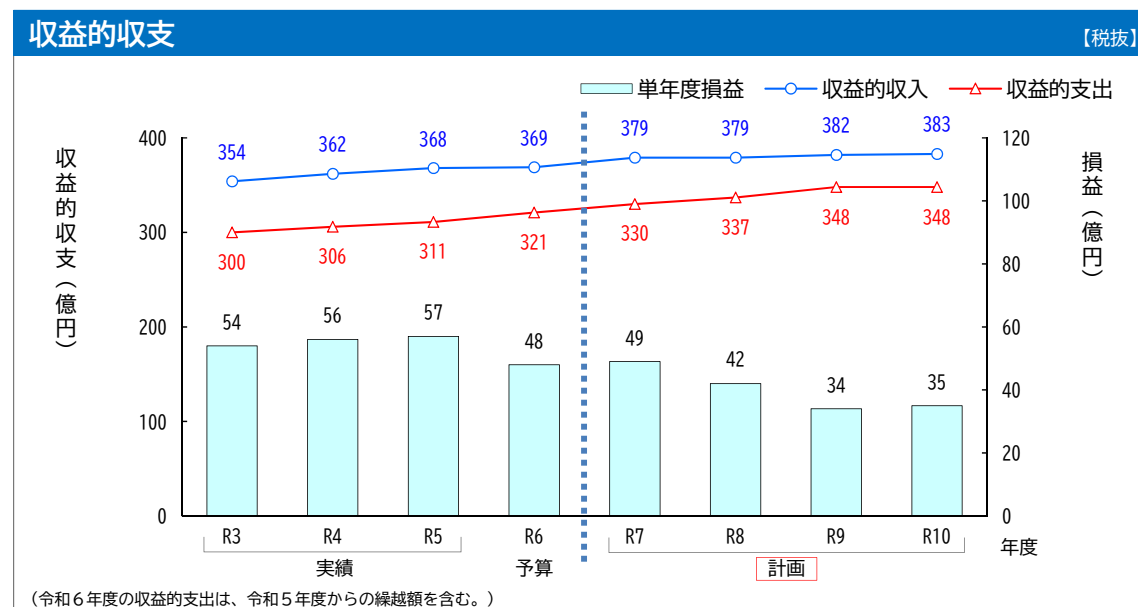
累積資金については、建設投資に係る資金需要に対応するため、段階的に取り崩すが、令和10（2028）年度末で38億円の確保を見込んでいる。

#### 4 企業債残高の縮減

企業債借入額を償還額の範囲に抑えることで、着実に企業債残高を縮減させることとしており、期間内の縮減額は11億円を見込んでいる。

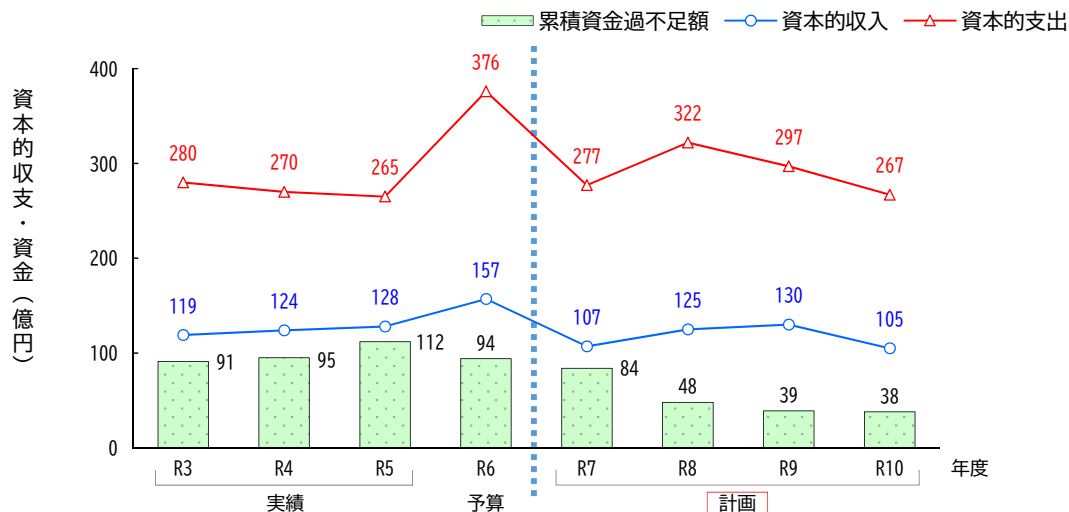
#### 5 現行料金の維持

現行料金を維持しながら、引き続き、企業債残高の縮減など、財政の健全化を図りつつ、施設の維持・更新を着実に進めていく。



## 資本的収支及び資金

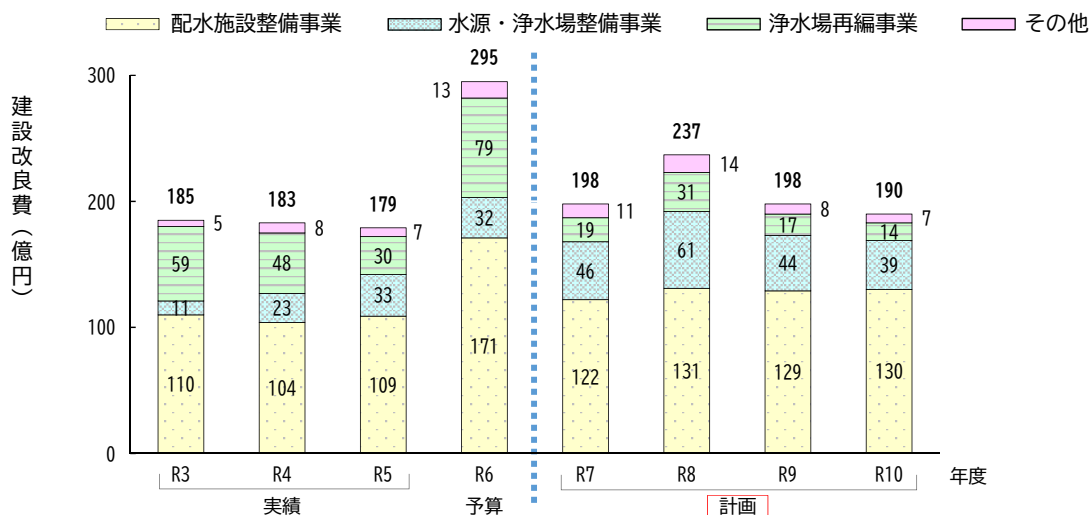
【税込】



(令和6年度の資本的収入及び支出は、令和5年度からの繰越額及び令和6年度補正額を含む。)

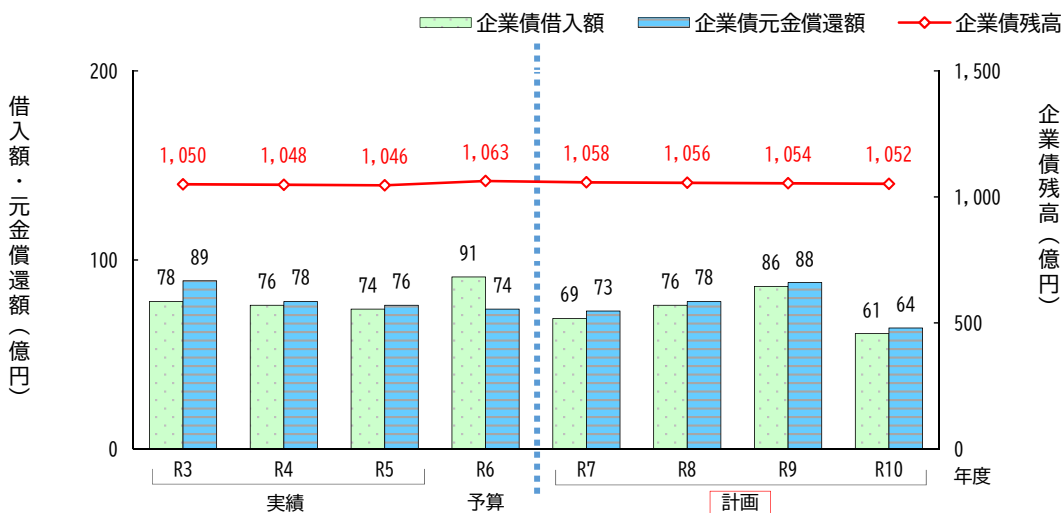
## 建設改良費

【税込】



(令和6年度の建設改良費は、令和5年度からの繰越額及び令和6年度補正額を含む。)

## 企業債残高



(令和6年度の企業債借入額は、令和5年度からの繰越額及び令和6年度補正額を含む。億円未満を四捨五入しており、計算が一致しない場合がある。)

## (2) 工業用水道事業

### ① 取組みの方向性

第3次「福岡市工業用水道中期経営計画」では、長期ビジョンで定めた施策目標の達成に向け、以下のとおり取組みの方向性を定めて、必要な事業を着実に推進していく。

◆ 施設の計画的な維持・更新及び災害対策の推進

◆ 財政の健全化

### ② 事業計画（主な事業）

#### 施策目標1 工業用水の安定供給

##### ◆ 浄水場整備事業

効果的な維持補修による長寿命化や計画的な更新を行うとともに、ICT等の活用による施設の維持管理の効率化や、さらなる長寿命化の検討を実施

##### ◆ 配水管整備事業

老朽化した配水支管の更新等に取り組むとともに、実施にあたっては、ダウンサイジングを適宜検討

#### 施策目標2 災害・危機管理対策の推進

##### ◆ 重要施設の耐震化

配水管の新設や更新時に全て耐震管を使用し、計画的に耐震化

##### ◆ 災害等への対策の推進

バックアップ機能の確保により浄水場の主要施設の機能を維持

#### 施策目標3 安定経営の持続

##### ◆ 積極的な情報提供

全ユーザー企業に向けて経営状況や事業の進捗状況を説明するなど、積極的に情報を提供

##### ◆ ユーザーニーズの把握

ユーザー企業へのアンケート調査等で収集したニーズを分析・検討し、事業運営に反映

##### ◆ 需要拡大

ユーザー企業の契約水量増量や新規ユーザーの開拓に向けた取組みを継続的に実施

##### ◆ 累積利益の確保

さらなる経費削減に向けた取組みを継続的に実施するとともに、料金改定を含めた財政健全化策を検討

### ③ 財政収支計画

#### 1 単年度利益

収入は、横ばいで推移する見込みである一方、支出は基幹管路更新に係る減価償却費や支払利息等が増加したため、単年度損益はマイナスで推移する見込みである。

#### 2 累積資金

累積資金については、企業経営に必要な運転資金の確保や今後の企業債償還を踏まえ、令和10（2028）年度末で371百万円の確保を見込んでいる。

#### 3 企業債残高

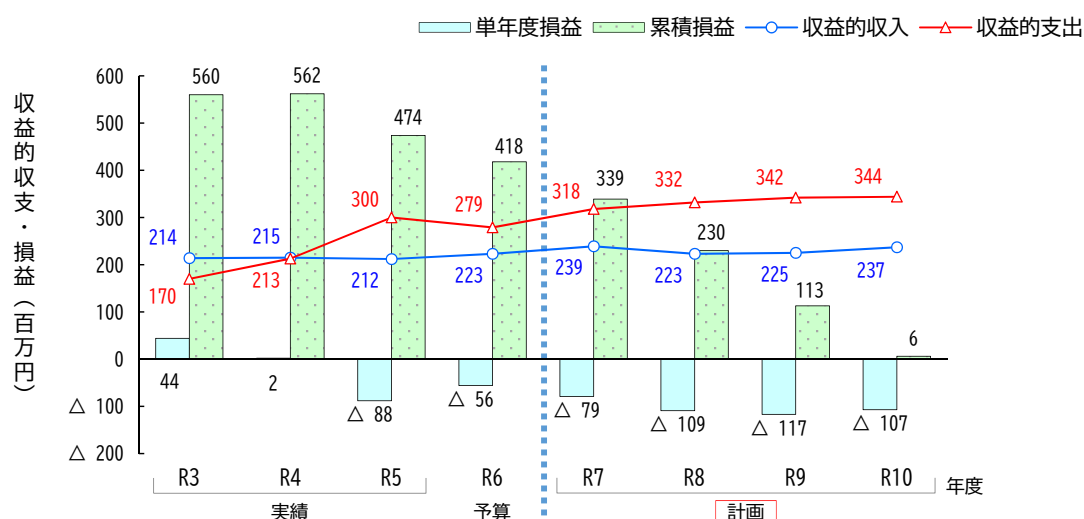
令和7（2025）年度以降、企業債残高は横ばいで推移する見込みである。

#### 4 財政健全化策の検討

新規ユーザー開拓等による需要拡大を図るとともに、さらなる経費削減や料金改定を含めた財政健全化策の検討を行う。

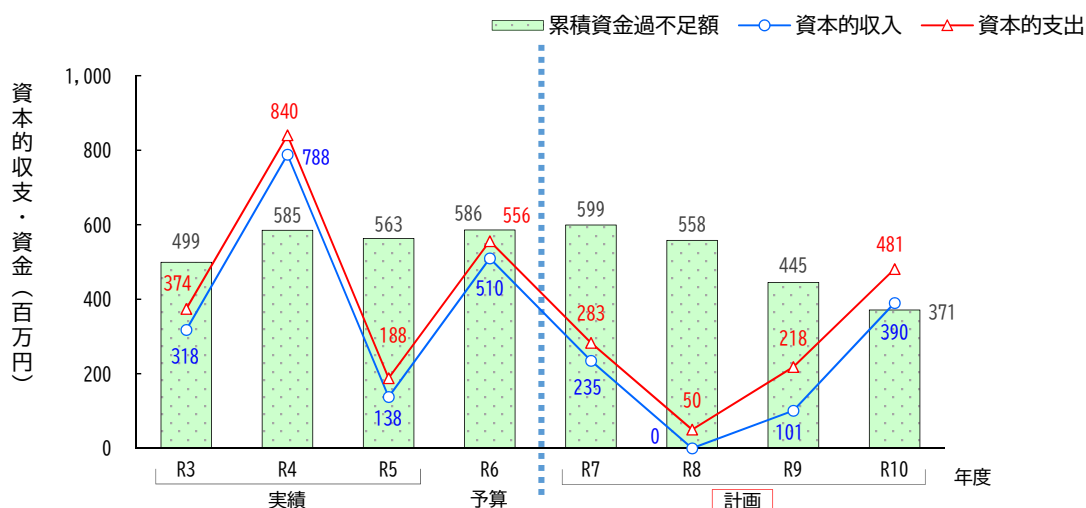
#### 収益的収支

【税抜】



#### 資本的収支及び資金

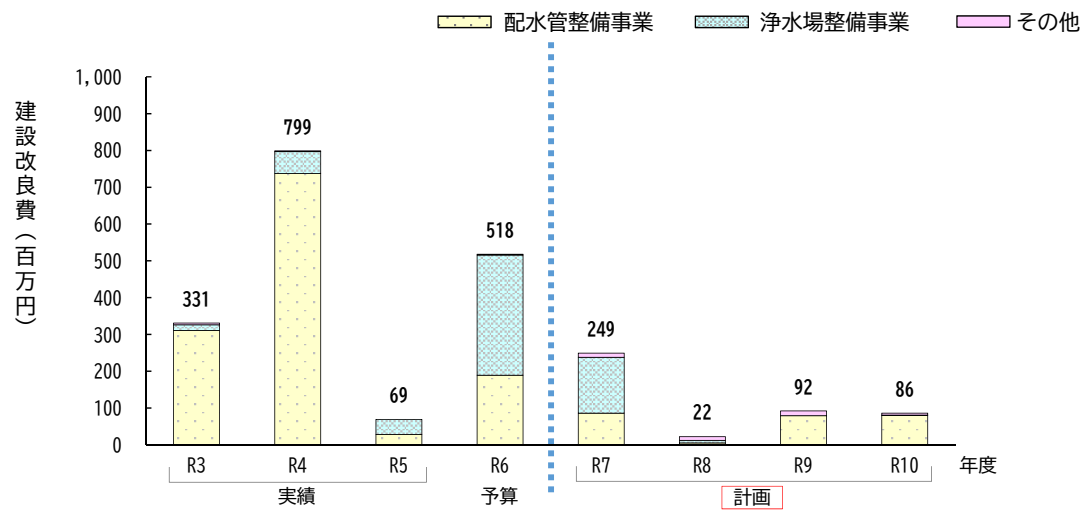
【税込】



（令和6年度の資本的収入及び支出は、令和5年度からの繰越額を含む。）

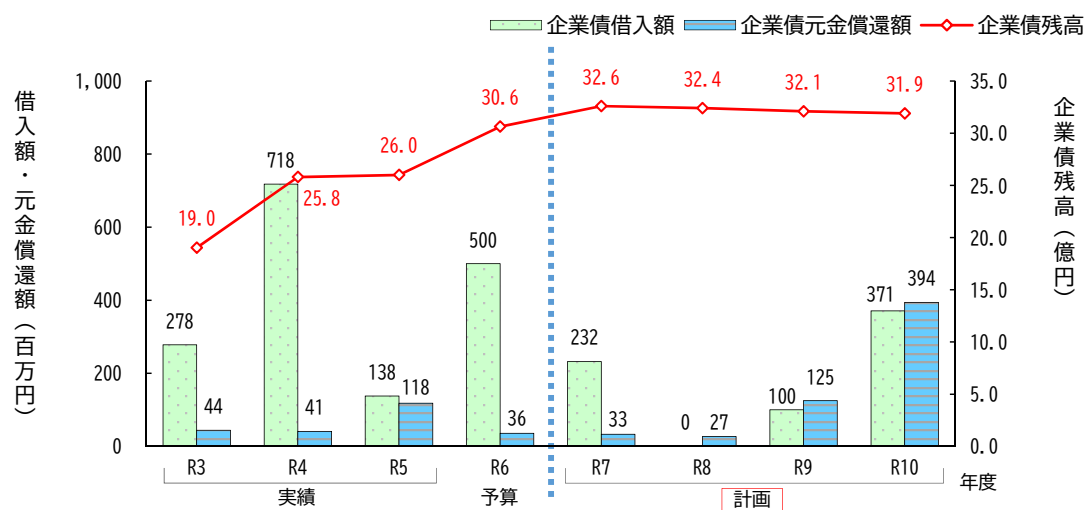
## 建設改良費

【税込】



(令和6年度の建設改良費は、令和5年度からの繰越額を含む。)

## 企業債残高



(令和6年度の企業債借入額は、令和5年度からの繰越額を含む。)

## 4 計画最終案

別紙1 第3次「福岡市水道中期経営計画」最終案

別紙2 第3次「福岡市工業用水道中期経営計画」最終案